

40 代女性

●主訴

抜け毛、脚の浮腫み

来院 1 年ほど前から抜け毛が多くなった気がする。脚の浮腫みは 4~5 年前から自覚する湯になった。

既往歴； 血液検査から橋本病が判明し、経過観察中。服薬はなし。

来院 10 か月ほど前に突発性難聴になり、3 か月後に治癒した。

●症状所見

4~5 年前から仕事が忙しくなり体重が 4Kg ほど増加した。2 年ほど前からは深夜帰宅も増え、ストレスが多く食生活も乱れがちになった。来院 1 年ほど前から抜け毛の多さが気になり、クリニックを受診したところ、頭頂部が少し薄くなっているようだった。薬を処方されたが長期服薬は不安になり止めてしまった。生えている毛も細くなってきた気がする。

●治療の内容と経過

1 診；腹部全体が冷えていることと舌の状態から、体内に余分な水分が多くたまっている様子だった。腹部にお灸と脚のツボに接触鍼を行い、漢方薬(九味檳榔湯)を処方した。

4 診；ここまで 7~10 日おきに治療を行った。漢方薬の服用を始めてから尿量が増加し、以前は便秘と軟便を繰り返していたが、お通じも順調になってきている。

手足と背部のツボに接触鍼とお灸を行った。

5 診；仕事が忙しいこともあり、やる気が起きずに寝てしまったり、食欲が亢進気味になっていた。主に脚と背部のツボに接触鍼とお灸を行い、漢方薬を当帰芍薬散料に変更した。

6 診；忙しくて睡眠時間も一定していないが、わりと体は元気に過ごしている。

以後、2 週おきに来院治療、漢方薬も続けていただいたところ、治療開始から約 2 か月後に洗髪後の抜け毛の量が減ったようだと報告あり。さらに 2 週後の来院時には抜け毛の量が気にならないくらいになり、髪自体も太くなってきたとの自覚があった。

治療開始 3 か月後、かなり抜け毛の量が減ったとのこと。ただ、一年ほど前から生理が始まると頭痛がするとのことで、漢方薬を当帰調血飲第一加減に変更した。

以後、体調管理のため継続して来院中。

●まとめ

この症例では、まず数年前からのストレスと食事の乱れで身体のエネルギーと栄養が不足し、体内に余分な水分が溜まって髪を栄養出来なくなった結果、抜け毛が増えたものと考えられた。よって、鍼灸治療と漢方薬を併用して余分な水分を排出し、気血を補うよう誘導したところ、治療開始3か月で神の状態も改善が見られたものと思われま